



ストロングタイプ

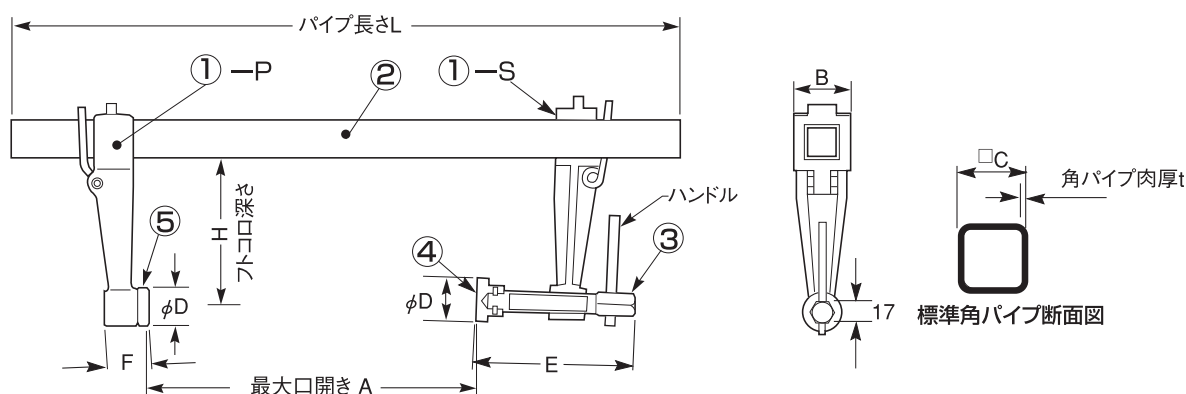
スーパーセッター

取扱い説明書

FCW210
FCW410
FCW415
FCW420

PAT.

■容量と主要寸法



品 番	許 容 荷 重	保証荷重 (本体のみ)	寸 法 (mm)								セット質量 (標準角パイプ含む)	標 準 角 パイプ質量
			A	B	C×t	D	E	F	H	L		
FCW210	350kg (クランプ範囲 700mmの時)	1,000kg	700	40	25×3.0	28	131	36	100	900	3.3kg	1.9kg
FCW410	550kg (クランプ範囲 750mmの時)	3,000kg	750	57	40×3.5	34	138	45	100	1000	6.3kg	3.9kg
FCW415	390kg (クランプ範囲 750mmの時)	3,000kg	750	57	40×3.5	34	138	45	150	1000	6.9kg	3.9kg
FCW420	300kg (クランプ範囲 750mmの時)	3,000kg	750	57	40×3.5	34	138	45	200	1000	7.5kg	3.9kg

※標準角パイプ (1m) 使用時の数値です。

■部品名・品番・セット内容

番号	部 品 名	部 品 品 番				セット内容数			
		FCW210	FCW410	FCW415	FCW420	FCW210	FCW410	FCW415	FCW420
①-S	本体S (おねじ・アダプター・ハンドル付)	FCWS210	FCWS410	FCWS415	FCWS420	1	1	1	1
①-P	本体P (固定アダプター付)	FCWP210	FCWP410	FCWP415	FCWP420	1	1	1	1
②	標準角パイプ	FCWK210	FCWK40			1			
③	おねじ (ハンドル付)	FCWD210	FCWD40						
④	おねじ用アダプター (ばね付)	FCWH210	FCWH40						
⑤	固定用アダプター	FCWU210	FCWU40						

■用 途

溶接作業をはじめとする鉄骨・木工等各種ワークの仮止め作業が自由かつ簡単に行えます。
また建築・土木分野の仮枠・型枠組立作業にも適します。

■特 長

●自由なサイズ調整

従来タイプの万力と異なり、本体より角パイプが分離できますので、長さの異なった角パイプを使用することにより、クランプ範囲の選択が自由にできます。

●自由な固定方向

本体の取り付け方向を変えることにより、内側・外側からの固定はもとより1本の角パイプに必要な数の本体を使用することで自由な固定方向で使用が可能です。

●自由な治具製作

本体と角パイプの固定方向をうまく組み合わせることにより、簡単に必要な治具ができあがります。

●自由な組み合わせ

アダプターは簡単に取り外しができますので固定アダプター・おねじアダプターを自由に組み換え、作業に応じて便利に使用できます。

当社の標準角パイプは高張力鋼材（STKT590）を

使用しておりますので一般市販の角パイプより軽量、強靱です。

●強力な本体

本体は特殊鋼を使用した鍛造品で完全な熱処理を行ったストロングタイプです。後記使用例にあります様に角パイプを補強することによりFCW 210は保証荷重1tonまで、又FCW410～420は保証荷重3tonまで使用できます。

●安定した固定

本体と角パイプの角度を締付側に3°傾けることにより、安定した締付けを確保できる様にしてあります。

●おねじには、スムーズな締め付けが行えるようにFCW 210はりん酸マンガン化成被膜処理を、又FCW 410～420は二硫化モリブデン塗装を施しております。

■取扱い注意事項

⚠ 注 意

1. 本品は吊具ではありません。吊作業には絶対使用しないでください。
2. 保証荷重は本体のみの耐荷重です。使用される本体・角パイプとクランプ範囲により定格荷重が異なりますので使用に際しては、角パイプサイズ別許容荷重線表をご参照ください。
3. おねじの締め付けトルクと締め付け力は、FCW 210の場合は約3.1、FCW410～420の場合は約2.8×トルク (kgf・cm)＝締め付け力 (kgf) となります。むやみに締め付けトルクを上げての使用は、角パイプにキズが付きスムーズに本体がスライドできなくなります。又角パイプが曲がりワークより本体が外れたり、破損したりする恐れがあり危険です。付属のハンドルでも十分に締まりますので、スパナやレンチ等を使用する場合には特に締め過ぎがないようにご注意ください。

- 例：レンチ17mmを使用した場合、レンチにかかる力がFCW210の時、10kgで約500kg、20kgで約1tonの締め付け力が、又FCW 410～420の時、20kgで約1ton、30kgで約1.5tonの締め付け力が発生します。
4. 本品は、仮止め作業に使用していただくもので恒久的な使用はさけてください。
 5. 標準の角パイプ以外の角パイプを使用する時は、所定の四角寸法のパイプを使用し、丸パイプや小さい角パイプ等は使用しないでください。なお、標準の角パイプ以外のものを使用する場合は、角パイプサイズ別許容荷重線表を参照の上、角パイプの強度を充分考慮してご使用ください。
 6. 割れ、欠け、摩耗や変形等の異状が認められた場合は、使用しないでください。

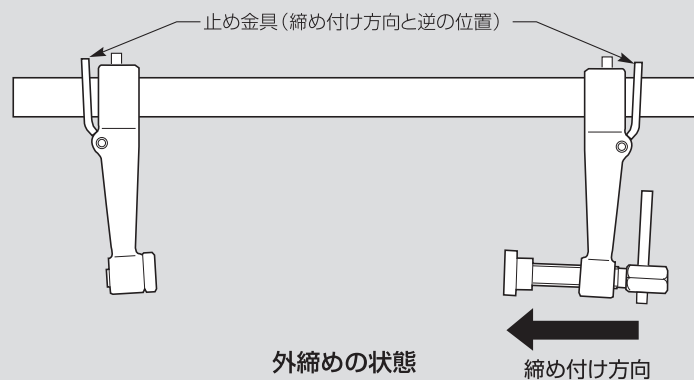
■操作方法

1. 外締めの際は、止め金具と本体をつまみ、角パイプに本体を差し込み止め金具が外側にくる様にセットしてください。（図-1・3参照）
2. 内張りの際は止め金具と本体をつまみ、角パイプに本体を差し込み止め金具が内側にくる様にセットしてください。（図-2・3参照）
3. ワークに合わせる時は、止め金具と本体をつまみ、ワークに当たるまで本体を移動させてください。この時必ず止め金具は、締め付け方向と逆の位置にくる様にセットしてください。（図-1・2参照）
4. 移動後はおねじを締め付け固定してください。
（⚠危険：おねじ操作中は、アダプターを図-4のように本体いっぱいまで下げないでください。アダプターがとび外れて、かおや手等に当たってけがをする

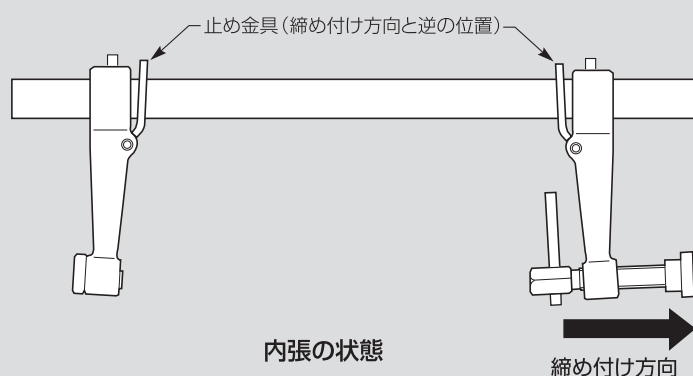
恐れがあります。）

5. おねじ・アダプター付からアダプターのみ取り外す場合は、本体にアダプターが当たるまでおねじをいっぱいにゆるめめすと簡単に抜けます。
（⚠危険：アダプターは、おねじより抜ける間は、必ず片方の手でささえ持っていてください。そのままですとアダプターがとび外れて、かおや手等に当たってけがをする恐れがありますので注意してください。）
アダプターを取り付ける場合は、おねじを少し出しアダプターを押し込んでください。（図-4参照）
（アダプターをいろいろな状態に変更したい時にご使用ください。）

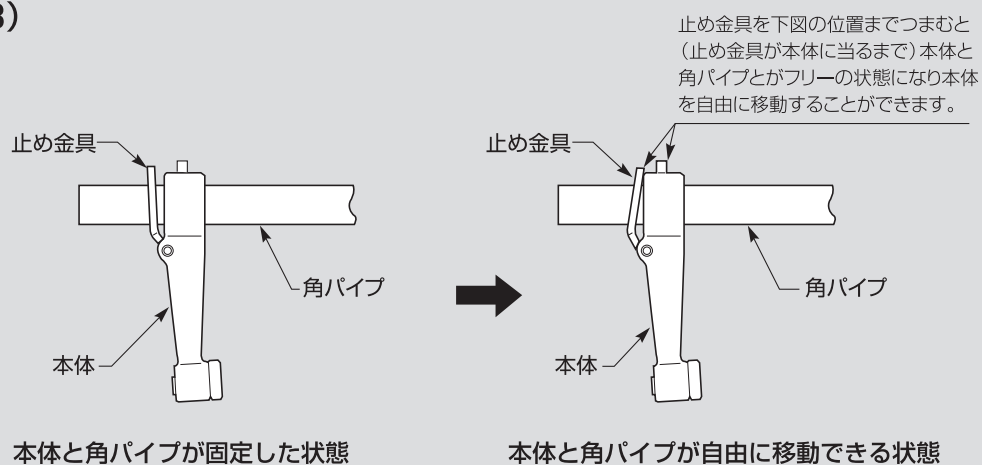
(図-1)



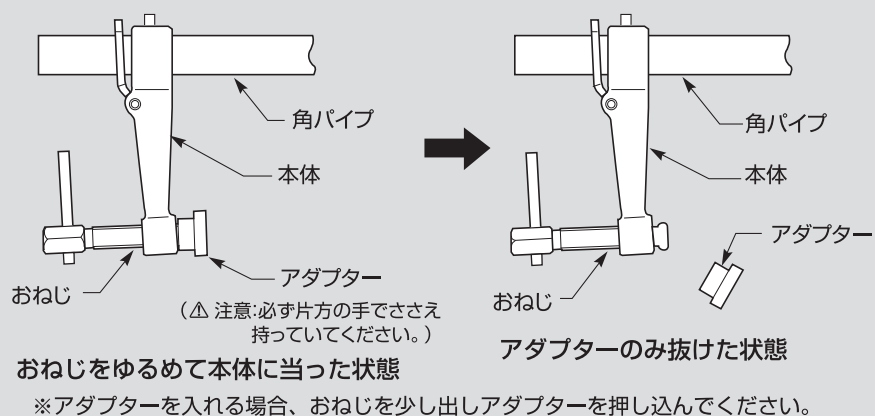
(図-2)



(図-3)



(図-4)



■許容荷重線表

許容荷重は、それぞれの使用角パイプ許容荷重線の左側の範囲内です。

表の見方例

5ページの図表では使用角パイプ別のクランプ範囲と許容荷重との関係を表わしていますが、使用角パイプ耐強度はさらにスーパーセッターのサイズ(フトコロ深さ)によっても異なります。

当社標準角パイプ②番を使用した場合

FCW 210使用の時 許容荷重350kg (クランプ範囲700mmの場合。)

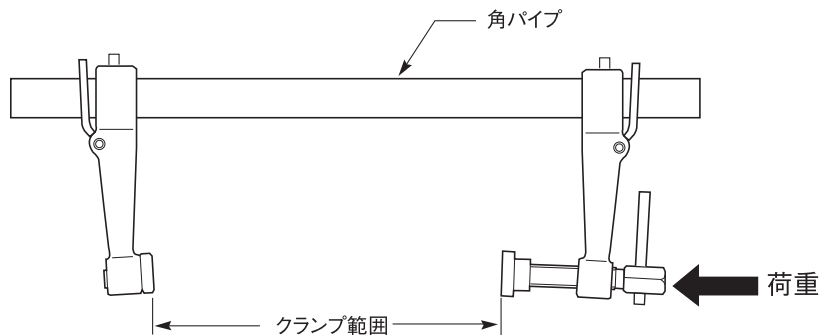
FCW 410使用の時 許容荷重550kg (クランプ範囲750mmの場合。)

FCW 415使用の時 許容荷重390kg (クランプ範囲750mmの場合。)

FCW 420使用の時 許容荷重300kg (クランプ範囲750mmの場合。)

となります。

又使用例に示すように、角パイプを補強することによりさらに大きな荷重 (FCW210の時、保証荷重1ton、FCW410～420の時、保証荷重3ton) まで使用できます。



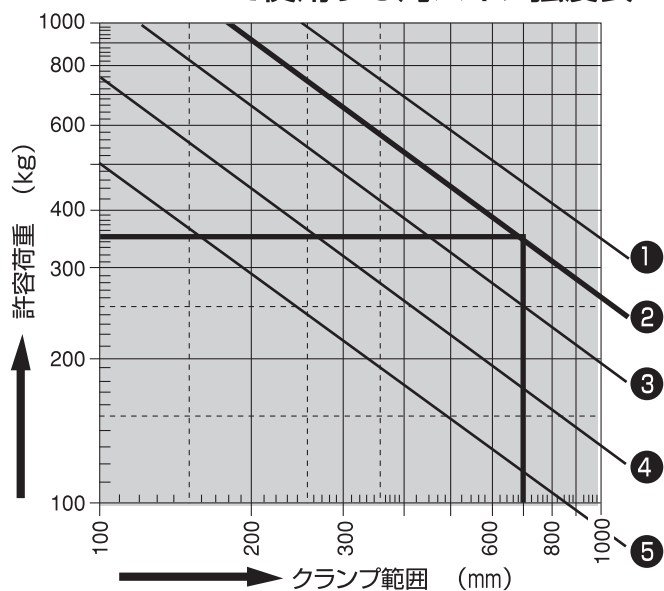
角パイプの種類 (FCW 210の時)

品番	呼び×肉厚	材 質	備 考
①	□25ムク材	SS400	
②	□25×3.0	STKT590	当社標準角パイプ
③	□25×3.2	SS400	
④	□25×2.3	SS400	JIS規格品
⑤	□25×1.6	SS400	JIS規格品

角パイプの種類 (FCW 410～420の時)

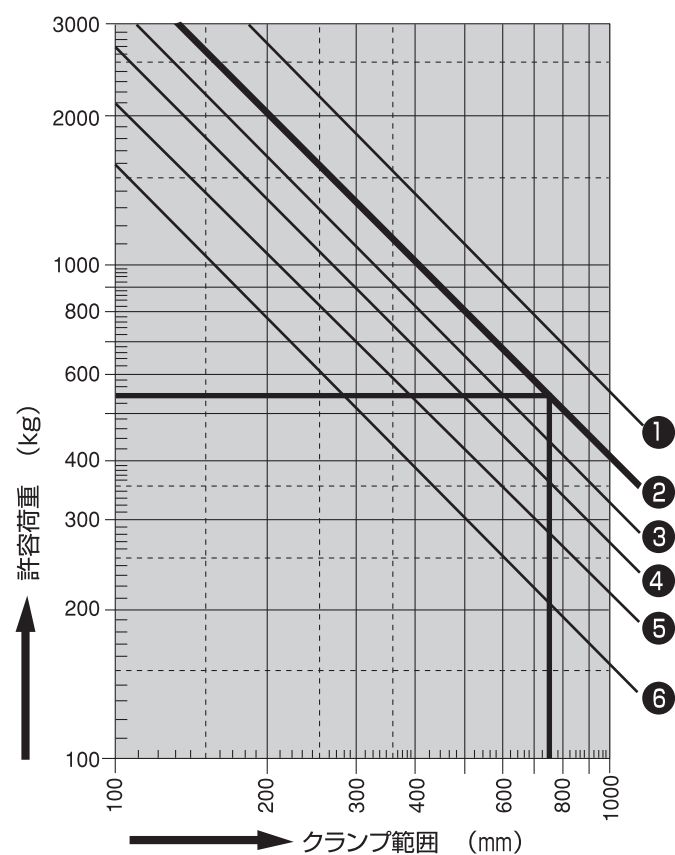
品番	呼び×肉厚	材 質	備 考
①	□40ムク材	SS400	
②	□40×3.5	STKT590	当社標準角パイプ
③	□40×4.5	SS400	
④	□40×3.2	SS400	
⑤	□40×2.3	SS400	JIS規格品
⑥	□40×1.6	SS400	JIS規格品

FCW 210で使用する角パイプ強度表



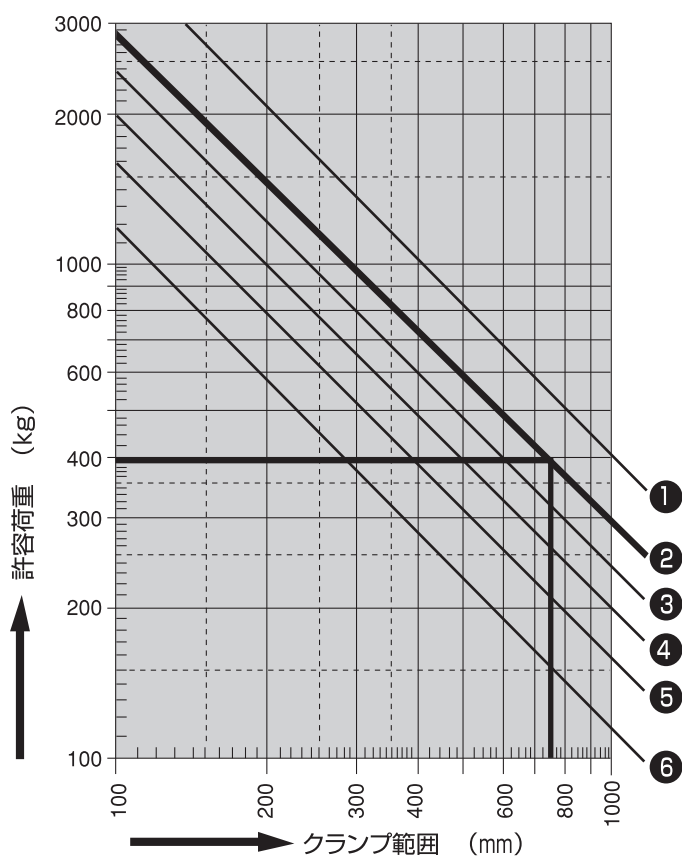
①～⑤は角パイプのサイズを表わしています。

FCW 410で使用する角パイプ強度表



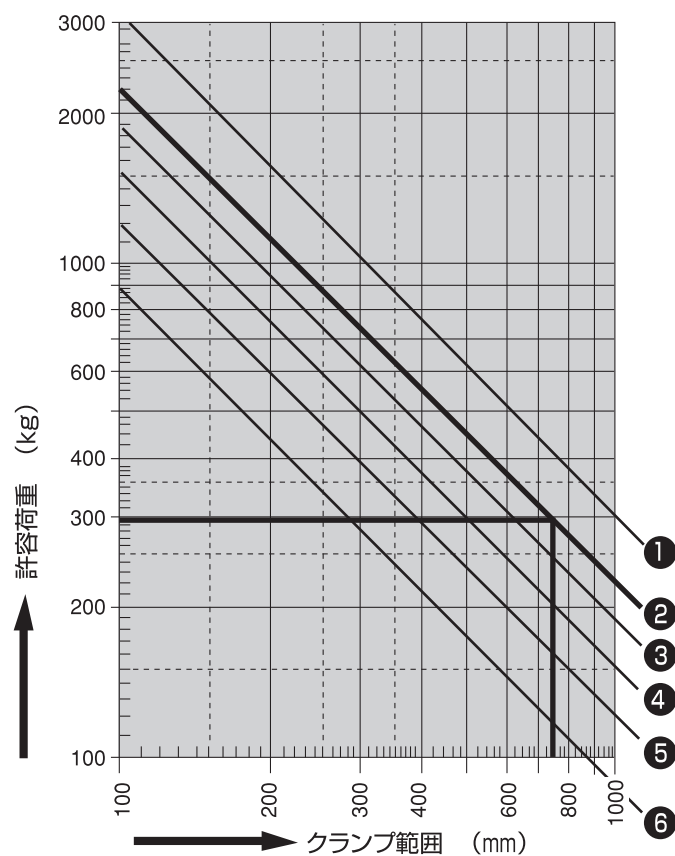
①～⑥は角パイプのサイズを表わしています。

FCW 415で使用する角パイプ強度表

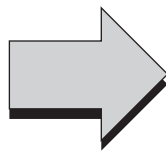


①～⑥は角パイプのサイズを表わしています。

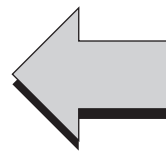
FCW 420で使用する角パイプ強度表



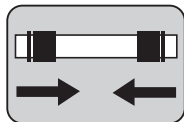
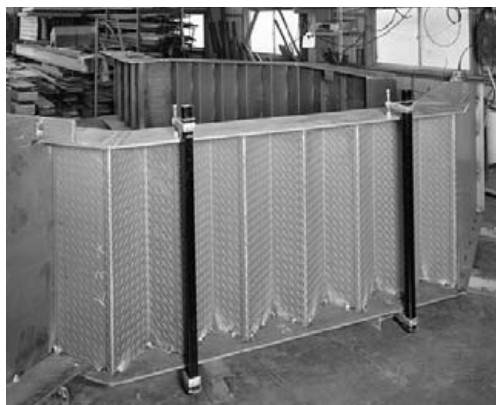
①～⑥は角パイプのサイズを表わしています。



本体を外締めセットした使用例

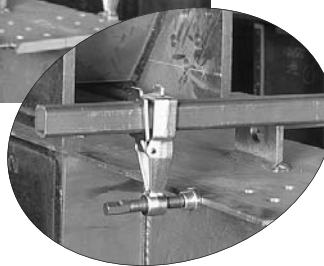


階段側板とふみ板の位置合せに!!
(FCW410~420を使用の時)



▲標準セット

H鋼当金仮付作業に!!

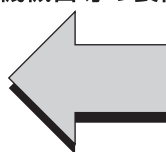


長尺パイプ材料を
マトメてケガキ、
切断に!!

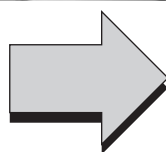


□形鋼を使用して
機械台等の製作に!!

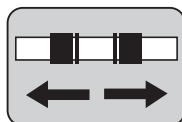
木工の作業に!!



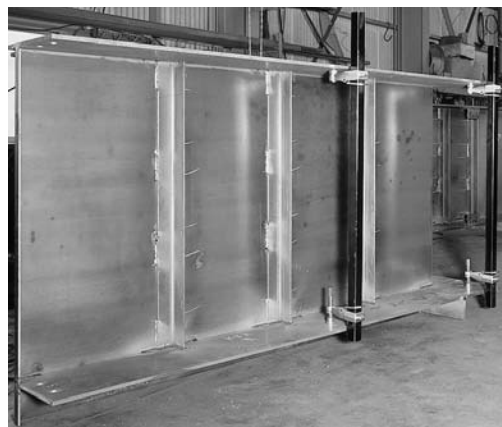
本体を内張りにセットした使用例



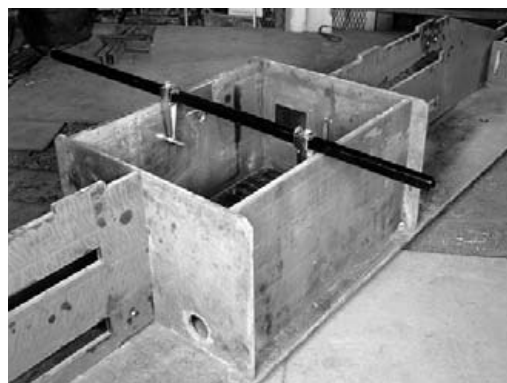
▼標準セット



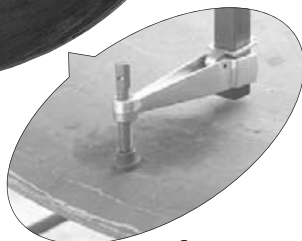
階段側板の歪取り作業に!!
(FCW410~420を使用の時)



BOX製作時の内側歪取り作業に



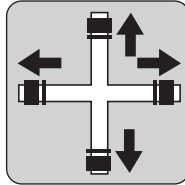
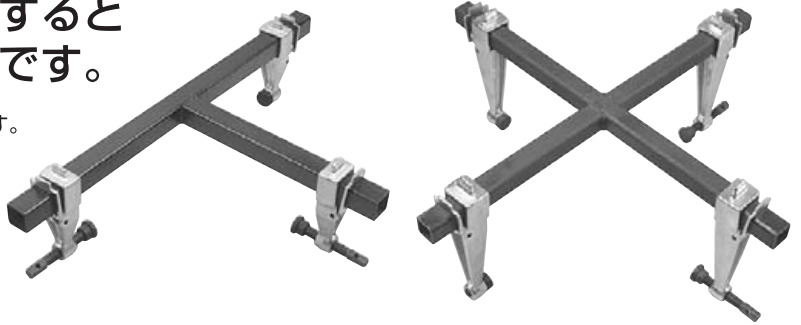
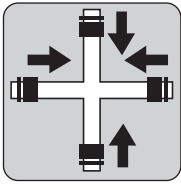
大型パイプ製作時の歪取りに!!
(FCW410~420を使用の時)



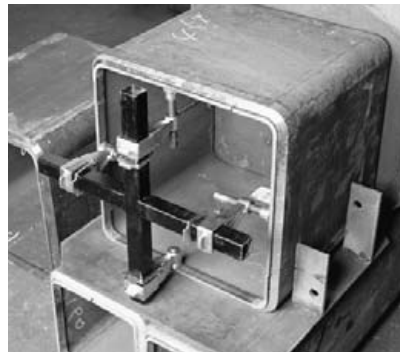
パイプをいろいろに加工すると 現場に合った作業が可能です。

※パイプの加工はユーザー様にてお願い致します。

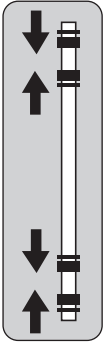
ベンディングパイプ修正仮付作業に！！



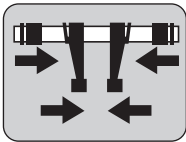
コラム当板の
仮付作業に！！



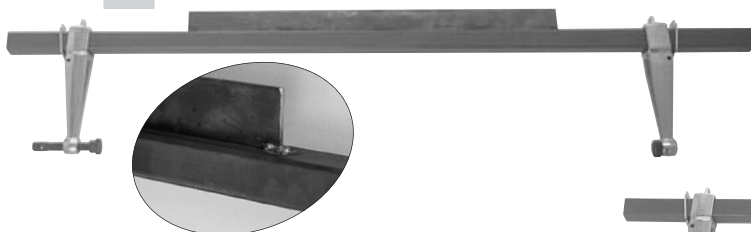
フランジ位置合せのカラー
代わりに！！



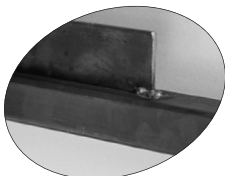
ブラケット間隔合せに！！



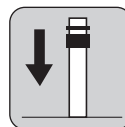
角パイプを補強



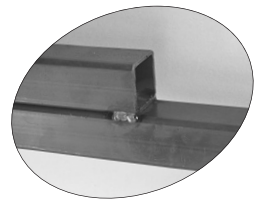
●フラットバーにての補強例



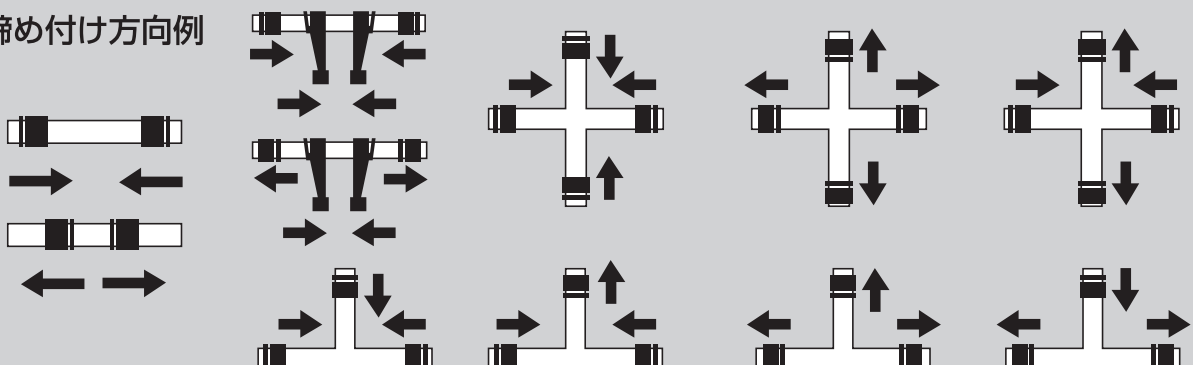
溶断製品のマトメ加工に！！



●パイプにての補強例



締め付け方向例



■ストロングタイプ スーパーセッター シリーズ部品表 (使用用途によりお選びください。)

	品 名	品 番	質量 kg	説 明
	本 体 S (おねじ・アダプター・ ハンドル付)	FCWS 210	0.8	フトコロ深さ 100mm
		FCWS 410	1.3	// 100mm
		FCWS 415	1.6	// 150mm
		FCWS 420	1.9	// 200mm
	本 体 P (固定アダプター付)	FCWP 210	0.6	// 100mm
		FCWP 410	1.1	// 100mm
		FCWP 415	1.4	// 150mm
		FCWP 420	1.7	// 200mm
	本 体 (本体のみ)	FCWB 210	0.5	// 100mm
		FCWB 410	1.0	// 100mm
		FCWB 415	1.3	// 150mm
		FCWB 420	1.6	// 200mm
	おねじハンドル付	FCWD 210	0.15	標準セット品：長さ 122mm
		FCWD 40	0.2	// 130mm
	おねじハンドル付 (ロングタイプ)	FCWD 4018	0.3	長おねじ：長さ 180mm
	おねじ用アダプター (ばね付)	FCWH 210	0.05	標準セット品
		FCWH 40	0.1	
	おねじ用アダプター (溝付)	FCWH 40V	0.1	溝付アダプター
	固定用アダプター	FCWU 210	0.1	標準セット品
		FCWU 40	0.1	
	固定用アダプター (溝付)	FCWU 40V	0.1	溝付アダプター
	角パイプ	FCWK 210	1.9	標準セット品 0.9m
		FCWK 40	3.9	// 1m
		FCWK 4015	5.8	オプション角パイプ 1.5m
		FCWK 4020	7.8	// 2m

株式会社 **スーパーツール** お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル ハロースーパーツール
 お客様相談室 ☎0120-86-4859
 ホームページ <http://www.supertool.co.jp/>

☐ 本社・工場 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地 TEL.072-236-5521(代) FAX.072-236-5785
☐ 大阪支店 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地 TEL.072-236-5526(代) FAX.072-236-3817
☐ 東京支店 〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目4-18 TEL.03-5750-2341(代) FAX.03-5750-2347
 ゴールドステージビル
☐ 名古屋支店 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4 TEL.052-323-0701(代) FAX.052-323-0720
☐ 札幌 〒003-0029 札幌市白石区平和通3丁目北4-20 TEL.011-864-3581 FAX.011-864-3590
☐ 仙台 〒984-0831 仙台市若林区沖野2丁目8-5 TEL.022-294-1922 FAX.022-285-1513
☐ 新潟 〒950-0855 新潟市東区江南2丁目6-2 TEL.025-287-5353 FAX.025-287-6003
☐ 広島 〒733-0012 広島市西区中広町2-14-27 TEL.082-293-5570 FAX.082-293-5531
☐ 福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-10-23 TEL.092-431-1897 FAX.092-431-1909